

2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年3月7日作成)

小委員会名	G 空間社会デザイン小委員会		主 査 名：小林祐司 就任年月：2021年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：渡辺 俊
設 置 期 間	2021年 4月 ～ 2023年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>G 空間社会（地理空間情報高度利用社会）形成のためには、地理空間情報利用の多様化をより一層進めることが求められる。とりわけ、コロナ禍における地理空間情報の可能性を示し、より効率的で安全・安心な建築・都市、地域空間のあり方を示さねばならない。さらには、地理総合をはじめ、教育分野においても地理空間情報の活用が進めば、全ての世代が関わる新たな空間デザインの潮流を生み出す可能性すら秘めている。そこで本小委員会においては、多様な地理空間情報の活用はもとより、AI・機械学習・BIMなどの最新技術とGISの連携による地域空間デザイン手法の提案を行う。</p> <p>初年度：研究発表・情報交換・意見交換 小委員会主催・共催のシンポジウムを開催</p> <p>2年度：共同研究の検討 情報・システム・利用・技術シンポジウムでOSを企画 建築学会大会 OS 開催、建築学会大会研究協議会開催を検討</p>		
委員構成 (委員名（所属）)	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：小林祐司（大分大学） 幹事：山田悟史（立命館大学） 委員：大内宏友（日本大学）、大場 亨（市川市）、北垣亮介（北海道大学）、 阪田知彦（建築研究所）、関口達也（金沢大学）、瀧澤重志（大阪市立大学）、 中澤公伯（日本大学）、藤井健史（立命館大学）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2021年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. WG の開催回数は当初 4 回を予定していたが、日程の問題で 3 回（うち 1 回は、メール審議）にとどまった。1 回目は主査の活動状況（防災・減災や GIS の活用など）の情報提供と意見交換,そして小委員会活動の方向性検討, 2 回目・3 回目についてはメール審議も含めて今後の活動方針の確認を行った。オンラインではあるが、活発な情報共有・意見交換ができており、この点においては概ね目標を達成できている。</p> <p>2. コロナ禍の影響もありシンポジウムは開催できなかったが、次年度の情報・システム・利用・技術シンポジウムにおいて OS を開催することを小委員会で確認し、準備を進めることとした。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 委員それぞれの学内業務の影響もあり、オンラインでも日程調整が困難な状況である。小委員会の効率的な運営を検討する必要がある。</p>
<p>その他</p>	